

ステアリングリモコンアダプター STR427

12V車専用

取付/取扱説明書

ステアリングリモコンアダプター STR427 は、車両に標準装備（一部メーカーオプション、ディーラーオプション装備含む）されているステアリングスイッチで市販のナビをコントロールすることを目的とした製品です。ステアリングリモコンアダプターにより音量の増減、チャンネルの変更、ソース（音源）の変更あるいは現在地の表示ができるようになります。

付属の保証書に必要な事項を全てご記入ください。特に販売店印及びご購入日の記入が無い場合、保証書は無効となります。保証期間を有効にするために、必ずユーザー登録をおこなってください。

- ※ナビゲーション、オーディオによりステアリングスイッチで操作できる内容、機器側の動作が異なります。
- ※保証期間はご購入日を含めて「1年間」となります。
- ※ユーザー登録をおこなわない場合、保証期間は無効となります。
- ※保証規定は保証書を参照してください。
- ※保証書は如何なる理由があっても再発行致しません。あらかじめご了承ください。
- ※本体に貼付されている封印シールを剥がさないでください。剥がすと保証期間に関わらず保証対象外となります。

Data System 株式会社 データシステム

■ [本 社] 東京都新宿区新宿 1-18-2 TEL.03-5369-4137 (代)
 ■ [倉敷支社] 岡山県倉敷市神田 1-1-11 TEL.086-445-1617 (代)

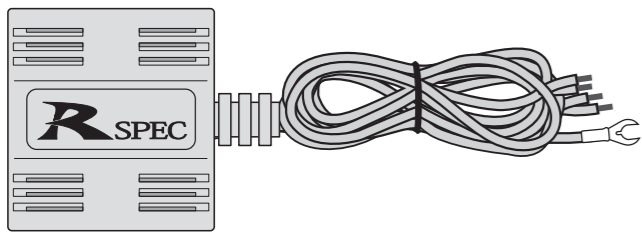
自動音声案内に従って下記の#(シャープ)と番号を押しください。

- #1 適合確認
- #2 サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付)
- #3 在庫確認・ご注文
 (※コレクトコールによるお問い合わせは受付致しかねますので予めご了承ください)
 弊社に無断で本説明書の内容・図・写真の全部、または一部の複製(コピー)・転用・転載を禁じます。

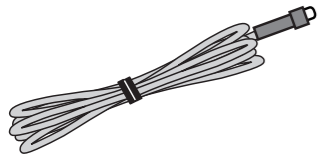
STR427-1006-AN

内容物一覧

■ STR427 本体 × 1



■ リモコン送信部 × 1



- エレクトロタップ 赤×1、白×3
- 両面テープ × 1
- 結束バンド × 5
- 取付/取扱説明書(本書) × 1
- 保証書 ユーザー保証登録カード × 1

仕様

電源電圧	DC12V(マイナスアース)
消費電流	約20mA

注意(必ずお読みください)

本書では注意事項の定義を次のように示しています。

危険	守らないと、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が高いもの	注意	守らないと、車両及び製品を破損、または故障させる恐れがあるもの
警告	守らないと、法律に違反する恐れがあるもの	重要	本製品を使用する上で知っておいていただきたいもの

取り付け上の注意

- 製品の取り付けは、必ず専門の知識・設備のある取扱い業者でおこなってください。
- 取り付け作業前に、必ずバッテリーマイナス端子を外して車両側の電源を遮断してください。電源を遮断しない状況での取り付けは、ショートや感電など重大事故につながります。※バッテリーマイナス端子を外す前に、消えると困るラジオのメモリー内容等をメモしておき、取り付け完了後に再入力してください。
- 本体を直射日光が当たる場所やヒーターの温風が直接当たる場所・高温・多湿になる場所には設置しないでください。故障や誤動作・ノイズ発生等の原因になります。
- 本体は必ず付属の両面テープ等で車両側に固定してください。また、使用中にケーブルが引っ張られ本体から外れないようケーブルの取り回しにご注意ください。
- 車両側及び本製品の配線を傷つけたり本体を変形させたりしないでください。
- 本製品を使用して発生した事故、違法行為、車両の故障または破損などの責任は一切負いません。
- エンジンを掛けて(ACC電源が入って)から約5秒間はステアリングスイッチでの操作はできません。
- ナビのオプションのチューナーは、ナビの機種によってステアリングスイッチで操作できないことがあります。

取り付け前の注意

- ※STR427を取り付ける前に適合に間違いがないか最新適合表で確認してください。
- ※STR427を取り付ける前に装着されている市販ナビゲーション、オーディオが正常に動作していることを確認してください。
- ※STR427の取り付けをおこなう車両のステアリングスイッチ配線に他製品が接続されている場合、STR427は正常に動作しません。

取り付け中・取り付け後の注意

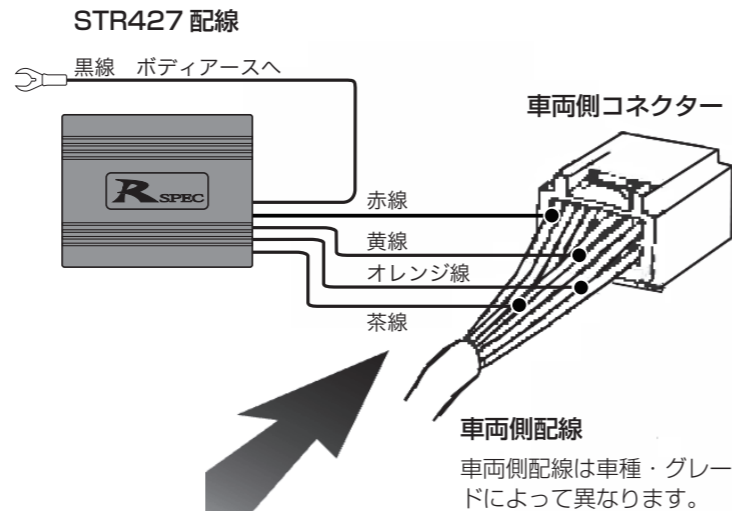
- ※リモコン送信部のホルダーを使用しない取り付けも可能です。この場合、リモコン送信部の熱収縮チューブ部分は、無理な力をかけて曲げないでください。故障の原因となります。
- ※リモコン送信部とナビユニット、オーディオユニットのリモコン受光部の間には遮蔽物がないように取り付けてください。
- ※リモコン送信部は、ナビユニット、オーディオユニットの受光部の正面になるべく向くように取り付けてください。
- ※「リモコン送信部」「本体」を固定、収納する前に、動作確認をおこなってください。

配線接続位置

ナビゲーション奥にある車両側コネクタを探して接続例を参考に各配線を接続してください。

配線接続位置の見方

接続例はすべて車両側配線のコネクタを配線側から見たものです。



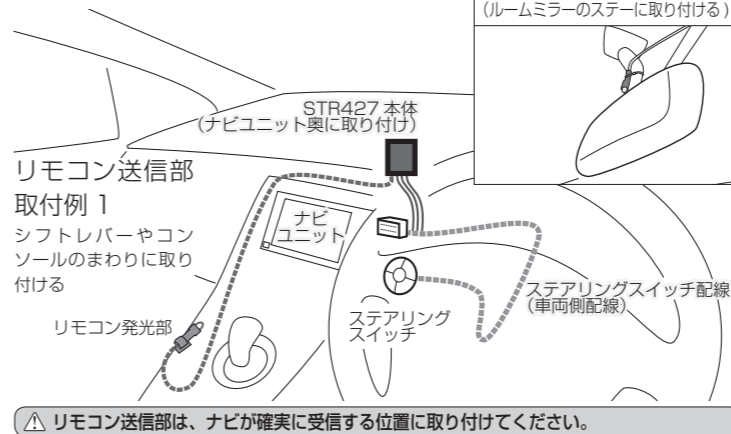
各メーカーの接続例はこの方向からコネクタを見た図です

※製品の配線色と車両側の配線色は異なります。

赤と白のエレクトロタップの使用について
 △ STRの赤線の接続には赤のエレクトロタップを使用してください。オレンジ線、黄線、茶線の接続には白のエレクトロタップを使用してください。

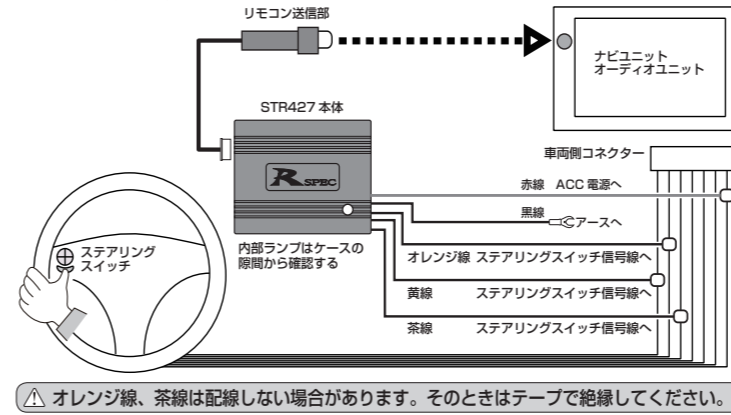
取り付け方法

部品取り付け例



△ リモコン送信部は、ナビが確実に受信する位置に取り付けてください。

接続概要図



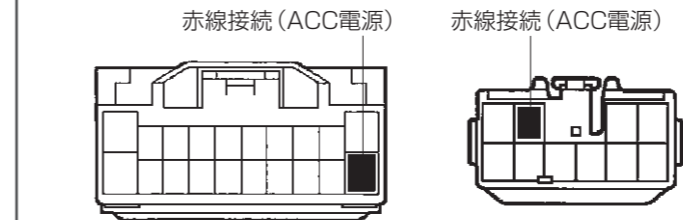
△ オレンジ線、茶線は配線しない場合があります。そのときはテープで絶縁してください。

トヨタ・ダイハツ車

ステアリングスイッチ信号線
 ナビゲーション取付部奥の20ピン
 (このコネクタは未接続のままナビの奥に固定されている場合があります)

※ マークX(Fパッケージを除く) GRX130・133・135 H21.10～
 △ は茶線を接続する場所に配線が無い場合があります。その場合は接続する必要はありません。

ACC電源
 ナビゲーション取付部奥の20ピンあるいは10ピン



スズキ車

ナビゲーション取付部奥の20ピン

オレンジ線は接続しないのでテープで絶縁する。



取り付け方法

※以下の説明はナビゲーション(あるいはオーディオ)ユニットがすでに取り付けられていることを前提としています。

1. バッテリーのマイナス端子を外します
2. パネル類を取り外し、ナビユニットを取り外します
3. ナビユニットの奥にある、車両側のコネクタを確認します
4. 「配線接続位置(下図)」を参照して電源、ステアリングスイッチ信号線を接続します
 △ オレンジ線、茶線は配線しない場合があります。
5. STR427 本体とリモコン送信部を接続します
6. リモコン送信部をナビユニットの受光部近くに仮止めします
7. ナビユニットのコネクタを接続します
8. バッテリーのマイナス端子を接続します
9. 初期設定(裏面参照)をおこないます
10. 初期設定を終え、動作を確認したらリモコン送信部を取り付けます
 ナビユニット、内装などを元に戻し取り付け終了

日産車

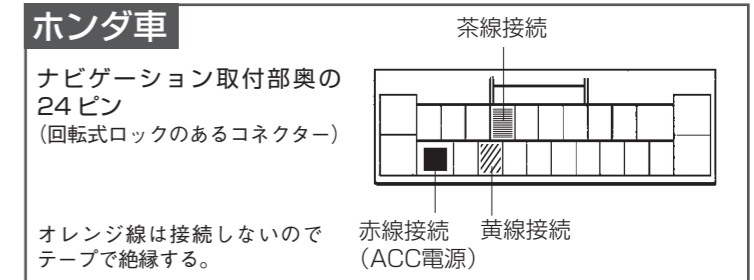
ナビゲーション取付部奥の20ピン

赤線接続 (ACC電源)

ホンダ車

ナビゲーション取付部奥の24ピン
 (回転式ロックのあるコネクタ)

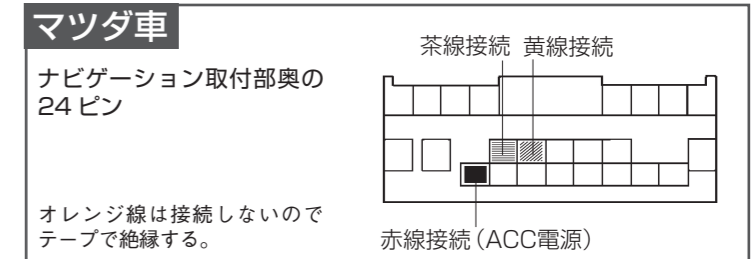
オレンジ線は接続しないのでテープで絶縁する。



マツダ車

ナビゲーション取付部奥の24ピン

オレンジ線は接続しないのでテープで絶縁する。

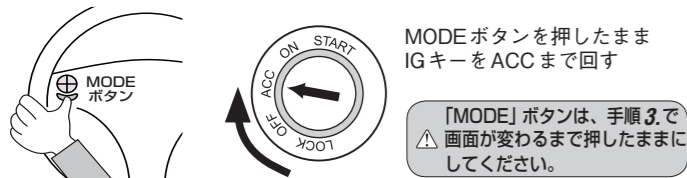


初期設定

△ 重要 ※配線・接続を完了させて、リモコン送信部をナビゲーション(オーディオ)のリモコン受光部の前に仮設置して以下の作業を行ってください。

「MODE」ボタンをソース(音源)の切替に設定する場合

1.ステアリングスイッチの「MODE」ボタン(あるいは「SOURCE」ボタン)を押しながら、IGキーをACCまで回す



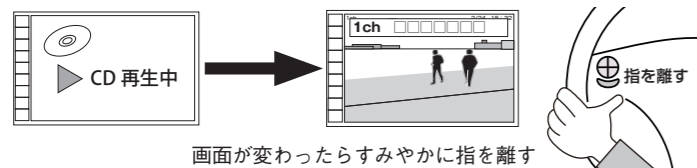
2.画面を操作してソースの画面にする

CD や TV などの画面にします。



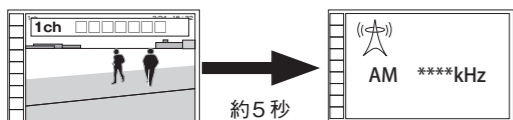
3.画面(オーディオ機器はソース)が変わったら「MODE」ボタンを離す

「MODE」ボタンを押しながら画面(オーディオ機器はソース)が変わります。画面が変わったらすみやかに「MODE」ボタンを離してください。



△ 画面が変わるまでの時間は機種(ナビ、オーディオ)により異なります。2分弱かかる場合があります。

4.5 秒後に画面が変わり、設定終了



△ 画面が変わらない機種もあります。

5.各ボタンの動作を確認する

ステアリングスイッチの「+」「-」ボタンで音量調整、「∧」「∨」ボタンでチャンネル変更、「MODE」ボタンで「ソース切替」表示ができることを確認します。



BEWITH製 MM-1 に取り付けた場合

BEWITH製 MirrorMedia MM-1 に取り付けた場合、「MODE」ボタンは画面のオン/オフ(表示/非表示)をおこなうボタンになります。

1.ステアリングスイッチの「MODE」ボタン(あるいは「SOURCE」ボタン)を押しながら、IGキーをACCまで回す

△ 「MODE」ボタンは、手順 4. で画面が自動的に消えるまで押したままにしてください。

2.音楽再生画面にする

3.自動的にモニターがOFFになり、画面が消えたら「MODE」ボタンを離す

4.各ボタンの動作を確認する

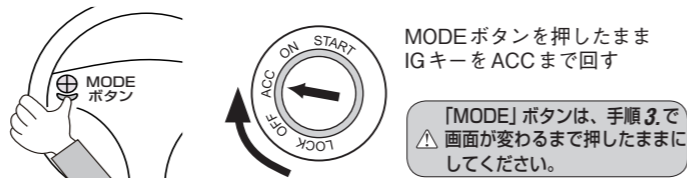
ステアリングスイッチの「+」「-」ボタンで音量調整、「∧」「∨」ボタンでチャンネル変更、「MODE」ボタンで画面のオン/オフができることを確認します。

△ 重要 ※問題なく動作するのを確認後、リモコン送信部を所定の位置に固定して、再度、問題なく動作することを確認してください。

「MODE」ボタンを現在地の表示に設定する

※ナビのみ設定可能です。

1.ステアリングスイッチの「MODE」ボタン(あるいは「SOURCE」ボタン)を押しながら、IGキーをACCまで回す



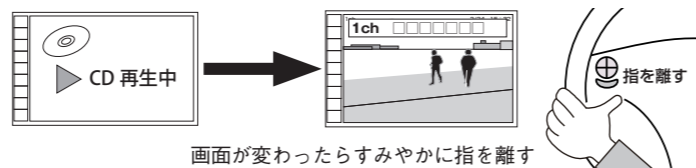
2.画面を操作してソースの画面にする

CD や TV などの画面にします。



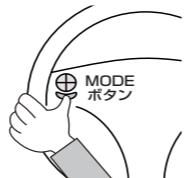
3.画面が変わったら「MODE」ボタンを離す

「MODE」ボタンを押しながら画面が変わります。画面が変わったらすみやかに「MODE」ボタンを離してください。

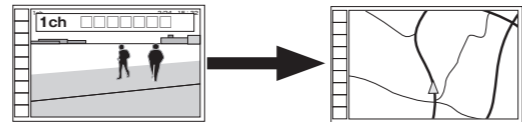


△ 画面が変わるまでの時間はナビの機種により異なります。2分弱かかる場合があります。

4.3 秒以内にもう一度「MODE」ボタンを押す



5.画面が現在地表示に変わったら「MODE」ボタンを離し、設定終了



△ 画面が変わらない機種もあります。10秒間変化のない場合は指を離してください。設定は終了しています。

6.各ボタンの動作を確認する

ステアリングスイッチの「+」「-」ボタンで音量調整、「∧」「∨」ボタンでチャンネル変更、「MODE」ボタンで「現在地」表示ができることを確認します。



△ 重要

- ※ 2分以上ボタンを押しながらも画面が全くかわらない、設定が終了しない場合はもう一度 最初から初期設定を行ってください。それでも設定できない場合は「トラブルシューティング」をお読みください。
- ※ 初期設定はエンジンを止めても記憶されます。
- ※ リモコン送信部は、仮止め位置での動作確認後に固定してください。

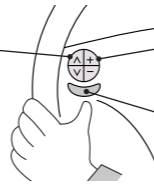
操作方法

「∧」「∨」ボタン

チャンネルの変更、CDの早送り、早戻しなどを行いません

「+」「-」ボタン

音量を増減します



「MODE」ボタン

ソースの切替が現在地の表示を行います

音量の調整

「+」ボタン	押す度に音量を大きくします。
「-」ボタン	押す度に音量を小さくします。

△ 押し続けることにより早く音量を変更する機種(ナビ)もあります。

チャンネルの変更、CDの曲送り

「∧」ボタン	押す度に放送のチャンネル番号を大きくします。CD、HDDオーディオなどを再生しているときは一つ先の曲に先送りします。
「∨」ボタン	押す度に放送のチャンネル番号を小さくします。CD、HDDオーディオなどを再生しているときは再生している曲の先頭、また一つ前の曲に逆送ります。

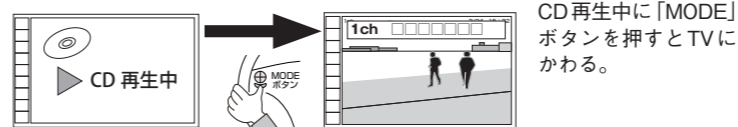
△ 「∧」「∨」ボタンを押し続けることにより早送り、早戻りできる機種(ナビ)もあります。また、シーク動作になる機種もあります。

MODE ボタンを「ソース(音源)の切替」に設定した場合

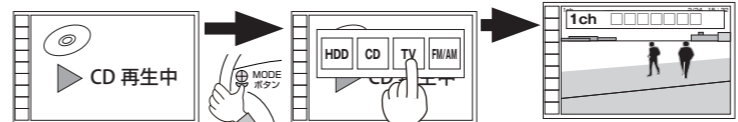
「MODE」(あるいは「SOURCE」)ボタンを押すとソース(CD、TV、ラジオなど)が変わる、あるいはソース切替画面が表示されます。設定方法は「初期設定(ソースの切替)」を参照してください。ソースの切替の動作はナビ、オーディオによって動作が異なります。

- 「MODE」ボタンを長押しすることにより、オーディオOFFになる機種があります。(パイオニア、クラリオンなど)
- 「MODE」ボタンを長押しすることにより、HDDオーディオ録音停止になる機種があります。

例 1: 「MODE」ボタンを押すたびにソース(音源)が切り替わる



例 2: パナソニックなど一部のナビでは、「MODE」ボタンを押すとソース選択画面のみ表示される
この場合、ソースの切替はタッチパネルを触ることでおこないます。



CD 再生中に「MODE」ボタンを押すと「ソース切替」の画面が出てくる。タッチパネルの「TV」を触れることによって TV にかわる。

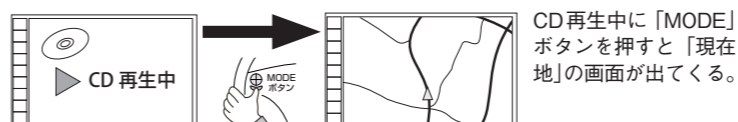
現在のソース画面が表示されずにソース切替画面がすぐに表示される機種や、一度地図画面が表示された後からソース切替画面が表示される機種があります。△ 「+、-、∧、∨」の操作ができれば正しく設定されています。

例 3: BEWITH「MM-1」では「MODE」ボタンを押すとモニター画面が消える

もう一度押すとモニター画面が表示されます。

MODE ボタンを「現在地の表示」に設定した場合

「MODE」(あるいは「SOURCE」)ボタンを押すと地図画面の「現在地」の表示になります。設定方法は「初期設定(現在地の表示)」を参照してください。



△ 現在地が表示されている状態で「MODE」ボタンを押すと現在地の住所を表示する機種があります。

トラブルシューティング

初期設定ができない、終わらない

1.本体内部のランプの点滅を確認する

● 「MODE」ボタンを押して IG キーを ACC の位置にしたとき、STR427 本体内部のランプが点滅することを確認する。



STR427 本体のすき間からランプの点灯を見る。

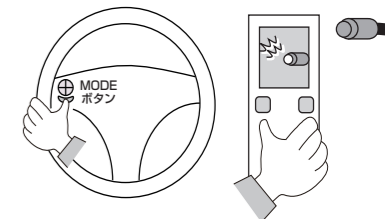
● 点滅が確認できない場合にはテスターを使い STR427 の電源 (ACC 電源)、アースに確実に接続されていることを確認する。

● ステアリングの各スイッチを押すごとに、STR427 本体内部のランプが点灯することを確認する。点灯が確認できない場合には配線図と車両のコネクターをみて、信号線の接続位置、接続状況を確認する。必要に応じて配線、取り付けを修正する。

● いずれの場合も本体内部のランプが光る(点滅、点灯)ときはリモコン送信部の発光を確認する。(下の「2. リモコン送信部の発光を確認する」を参照)

2.リモコン送信部の発光を確認する

● デジタルカメラや携帯電話のカメラ機能で送信部 LED の点滅状態を見ることが出来ます。カメラを送信部に向け、「MODE」ボタンを押して送信部 LED の点滅を確認してください。



● 点滅している場合は、リモコン送信部の向きを調整してください。(下の「3. リモコン送信部の向きを調整する」を参照)

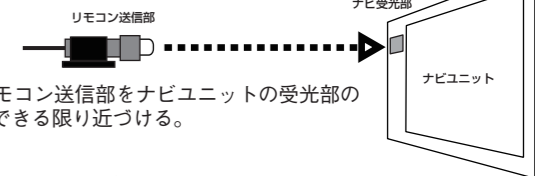
● 点滅していない場合は、送信部の接続を確認する。(肉眼では LED の発光は見えません)

MODE ボタンを押して IG キーを ACC まで回す。デジタルカメラの液晶モニターで LED (発光ダイオード) が光ることを確認する。

3.リモコン送信部の向きを調整する

● STR427 のリモコン送信部とナビ(オーディオ)の受光部が正対するよう、またあまり距離が離れないように位置を変える。その位置で初期設定をおこなう。

● 初期設定終了後、ナビが受光できる位置を探してリモコン送信部を取り付ける。初期設定ができない場合は、STR427 の設定(メーカー設定)を確認する。(下の「4. STR427 の設定を確認する」を参照)



4.STR427 の設定を確認する

IG キーを ACC の位置にしたとき STR427 内部のランプが点滅し、設定されているナビ・オーディオメーカーを見分けることができます。下の表を参考にしてください。電源を入れた直後にしか点滅しません。

ナビ・オーディオメーカー	点滅(黒い部分が点灯)	ナビ・オーディオメーカー	点滅(黒い部分が点灯)
サンヨー	■ ■ ■ ■ ■	パイオニア 1	■ ■ ■ ■ ■
イクリップス	■ ■ ■ ■ ■	パイオニア 2	■ ■ ■ ■ ■
クラリオン	■ ■ ■ ■ ■	ケンウッド 1	■ ■ ■ ■ ■
アルパイン	■ ■ ■ ■ ■	ケンウッド 2	■ ■ ■ ■ ■
パナソニック	■ ■ ■ ■ ■	BEWITH	■ ■ ■ ■ ■

設定に問題がなければ、再度リモコン送信部の方向を調整する。

初期設定は終わったがステアリングスイッチでナビの操作ができない

黄線、オレンジ線の接続先を確認してください。確認後は初期設定をおこなってください。初期設定中に画面が切り替わったあと「MODE」ボタンを離すのが遅かった場合、正しく設定されない場合があります。もう一度初期設定をおこなってください。